



理 念

高齢期の方々の尊厳を踏まえ、こころ温まる医療の提供と地域から愛される病院を目指します。

基本方針

- ① 認知症疾患の特性を踏まえ、個別性の高い医療と温かみのある療養の提供
- ② 認知症に関する介護教育と啓発活動の充実
- ③ 地域の医療・保健・福祉との一層の連携と協働
- ④ 働きがいのある職場づくり
- ⑤ 職員一人ひとりが自覚し、健全な病院運営への努力

患者様の権利に関する宣言

- ① 良質な医療を平等に受ける権利
- ② 選択および自己決定する権利
- ③ 意識のない患者様および法的能力のない患者様の権利
- ④ 十分な説明を受ける権利
- ⑤ 個人情報およびプライバシーを保護される権利
- ⑥ 個人の尊厳を守る権利
- ⑦ 通信・面会を自由に行う権利

INDEX

- 表紙 福井の名所探訪⑨
三方石観世音(若狭町)
- P2 すこやか講座
「インフルエンザの予防について」
- P3 家族は今
- P4 THE病棟
緑のカーテン・秋に向けて
- P5 デイケアだより
行事報告
- P6 トピックス
認知症看護認定看護師紹介
サブモニター設置
- P7 心愛日記
～5周年をむかえて～
- P8 平成30年度 研修案内
(一般・専門職)



すこやか講座

インフルエンザの予防について

秋～冬にかけて流行する病気で代表的なものに、インフルエンザがあります。知らない人はいないほど有名な感染症ですが、人によっては命の危険を及ぼす怖い病気でもあるのです。そこで今回は、インフルエンザの基礎知識や隠れた脅威、その予防法についてお話しします。

インフルエンザは**38℃以上の高熱や強い悪寒、身体のだるさ、頭痛、筋肉痛や関節痛などの症状**が全身に急激に出現してくるのが特徴です。鼻水やくしゃみなどの症状は、遅れて現れてきます。

インフルエンザに対するお薬は、**発症後48時間を過ぎると効果が減ってしまいます**。そのため、インフルエンザの流行時期に感染が疑われる症状がある場合には、病院での治療を受けることをお勧めします。典型的な症状が現れる方ばかりではないため、医療機関への受診に迷われる方もいると思います。インフルエンザかどうかを調べないまま放置していたが実はインフルエンザだったという場合に、適切な治療ができず、感染が広がったり、人によっては重症化してしまうことがあります。

高齢者がインフルエンザに感染すると具体的にどのような症状が出るのでしょうか。インフルエンザウイルスが直接的な原因となる場合もありますが、発症によって体力が失われたときに細菌に感染することで肺炎が起こることがあります。咳のしすぎやウイルスで炎症が起こり、気管支炎も発症する場合があります。また心不全のような症状が出る場合や息切れ、呼吸困難といった胸の違和感も起きます。こうした合併症は特に高齢者で起こりやすく、肺炎、気管支炎、心合併症に注意が必要です。さらに高齢者の場合は、下痢や腹痛になるケースもあります。

薬の効果で熱が下がった後もインフルエンザの感染力は残っているので、他の人に感染させる危険性があります。周囲への感染拡大を防止するためにも、**インフルエンザと思われる症状が始まった日の翌日から7日目まではできるだけ不要な外出をしないようにしましょう**。インフルエンザ予防の基本は予防接種ですが、予防接種の有効率は60%と言われており、予防接種をしたからといって必ず感染しないというわけではありません。**手洗い・うがい、マスクの着用、加湿と換気**などを心がけるようにしましょう。

家族は今…

S・M

父は、土木業を営んでいました。仕事は外での作業が多く、引退してからも毎日外へ出ては家の廻りで草刈りや薪割りなどの作業をしていました。

認知症を診断されてから、デイサービスを利用していました。意外に嫌がる事なく、楽しんで出かけていましたが、ある日突然、職員の方に手を上げるようになりました。父は、日頃から家族に対して言葉も行動も乱暴的で、物が飛んで来る時も多々ありましたが、手を上げる事はなかったと思います。だから驚きましたし、その前後から四六時中、突然に怒鳴ったり、ぶつぶつと何か文句を言ったり、夜中に部屋を荒したりと、毎日気が抜けなくなりました。

ケアマネさんから、こちらの病院へ相談する事を勧められ、症状から、すぐに入院する事になりました。母は、夜は父が気掛かりで眠る事ができず、昼は、母と私で父の行動を看視する毎日でしたが、入院が決まって母も私もホッとしました。本当に感謝しています。ありがとうございます。

入院しての一カ月ぐらいは、父と顔を会わすのが怖かったです。「家へ連れて帰れ」と言われそうで、避けていました。当初は、大声を出して周りの皆様に迷惑をかけていました。そんな父にも職員の皆様は優しく接してくれて、ありがたいと思っています。

現在、母も認知症になり症状も進んでいます…。認知症ほど、怖くて厄介なものはないと思います。父と母のこれからを思うと、不安しかありません。ですが、投げ出すわけにはいけないので、父と母を見守っていこうと思います。

今は、先生方、職員の皆様のおかげで父も落ち着いた日が増えたようです。



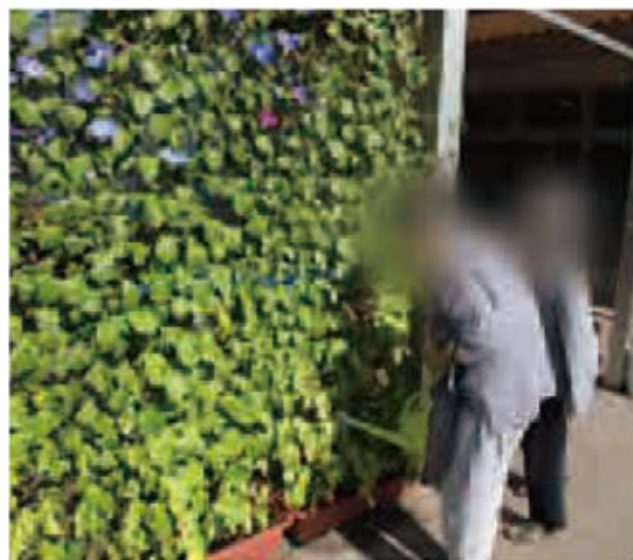
The 病棟



緑のカーテンで涼やかに

夏の間、西病棟で朝顔を育てました。今年は暑かったので、涼しげな緑のカーテンとなりました。植物がお好きな患者様も多く、窓から見える朝顔の花を、目を細めてみておられました。

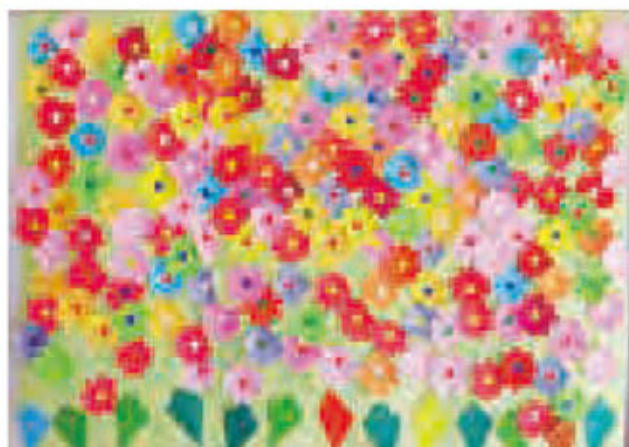
毎朝毎夕、患者様が水やりをして下さいました。患者様達の愛情に応えるように、たくさんの花が咲きました。



秋に向けて…

患者様に季節感を感じてもらえる様に、毎月貼り絵を作っています。今回は、コスモスとお月見団子を作りました。細かい作業ですが、患者様達は毎回楽しそうに作っておられ、完成すると達成感に満ち溢れておられました。

デイルームは、すっかり秋の装いです。



デイケアだより

8月 コカリナ演奏会

今年も『コカリナ・アンサンブルひがし』から9名の方にお越しいただき、演奏会を行いました。外は残暑の中、一足早く秋らしい曲目を演奏して下さったり、歌や手遊びもまじえて利用者の皆さんも童心にかえって楽しまれていました。

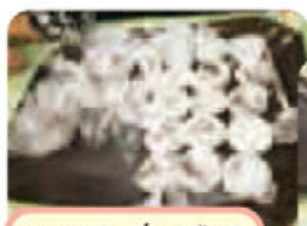
曲の合間の演奏も心地良い音色でした。



9月 おはぎ・五平餅づくり

夏の猛暑が嘘のように、一気に朝晩が涼しくなってきた9月。おはぎづくりを行いました。今年はドラマで話題になっている、五平餅もつくりました。

女性の利用者さんはもちろんですが、男性利用者さんの手際の良さにスタッフも驚きました。スタッフが「日頃、ご自宅で手伝いはされているのですか？」とお聞きすると、「全然したことない」と笑いながらおっしゃられる利用者さんが多かったのですが、積極的にご協力くださいました。肝心のお味の方は…もちろん大好評でした☆



さすが、手つきが
良いですね!!



五平餅がこんがり
焼けました!



美味しく
できました☆



男性陣には五平餅のたれを
塗っていただきました☆

トピックス

認知症看護認定 看護師紹介



西病棟 副看護師長
あら い みち え
荒井 岐 枝

私は、今年の7月に認知症看護認定看護師の認定試験に合格することができました。当院では4人目の認知症看護認定看護師となります。

私は平成7年、認知症の専門病院である、すこやかシルバー病院が開院した年に就職しました。それから20年余り、認知症看護に携わっています。認知症看護は私が就職した当時から比べると、認知症の人の気持ちを理解することに重点を置き、現れている症状だけに目を向けるのではなく、その人らしさを大切にしていくことが重要になっています。

一緒に働いている病棟スタッフのみんなと悩み、考えながら、本人はもちろん、その家族にとっても居心地の良い場所を提供していきたいと思っています。また他の専門職の人たちとも、お互いの情報を共有し、協力し合いながら、患者さんにとって、一番良い方法を模索していきたいと考えています。たくさんのスタッフに助けてもらうことも多く、認知症看護は一人ではできないと実感しています。だからこそ、自分の知識を活かしつつ、スタッフみんなの協力を得ながら、認知症の人にとって少しでも安心してもらえる空間にしていきたいと考えています。

認知症という病気を抱えていても、今まで生きてきた人生経験豊かな先輩として敬う気持ちを忘れず、温かい気持ちで接していきたいと思っています。そして、他の認知症看護認定看護師の良い部分を吸収しながら、これからも一生懸命、認知症の人の看護に精進していきたいと考えています。これからもよろしくお願いします。

サブモニターを設置しました



このたび、2階会議室にサブモニターを設置しました。会議室では介護教育研修等を行っております。専門職向けの研修においては、参加人数の増加により正面のモニターが見にくいとの意見が寄せられていました。今回のサブモニター設置により画面の見にくさが改善されましたので、今後も専門職研修をはじめとする当院の研修にどうぞご参加ください。

「認知症カフェ心愛」 5周年をむかえて

看護部長 高嶋 康子



皆さんは「認知症カフェ」という場所をご存知でしょうか？認知症カフェとは、平成24年6月、厚生労働省が「今後の認知症施策の方向性についての方針を示し、それに基づくオレンジプラン（認知症施策推進5か年計画）を策定しました。

その中で認知症カフェの普及が謳われました。認知症カフェとは、「認知症の人と家族、地域住民、専門職等の誰もが参加でき、集う場」と定義されています。

当すこやかシルバー病院は、認知症の専門病院として平成7年にオープンしました。

これまで多くの患者様に関わる中、認知症の初期の方について、介護保険のデイサービスなどは本人が嫌がり使えない。一方、地域の老人会活動やサロン等様々な活動には、本人が行きたがらない。という声が多く聞かれました。そこで、認知症が軽度の方々の居場所となれる「認知症カフェ」を造ろう！ということになりました。それが平成24年12月のことです。

しかし、福井県ではまだそのような場所はなく、インターネットで検索しても、京都市内で「オレンジカフェ今出川」というところがヒットするのみでした。認知症カフェを造るべく、院内で定期的に会議を開催し、先進地の視察を行い、当院が造る「認知症カフェ」の目的をどこに置くのか。等、細かく決めていきました。当院の「認知症カフェ」は、認知症に不安のある方、認知症の方ご本人や家族の方が安心して過ごせる場、気軽に相談できる場にしようという決め、平成25年9月7日に福井市洲3丁目に「認知症カフェ心愛（ここあ）」をオープンさせました。心愛は毎週土曜日10時～15時に開催し、飲み物代として100円を頂いておりますが、おかわりは自由です。心愛のスタッフには、精神保健福祉士・看護師などの専門職や経験豊富なボランティアがいます。毎回、お馴染みさんも含め、多くの方々に利用していただき、今年9月末までで250回開催し、利用者の述べ総数は4,453人になっています。そして、早いもので平成30年9月で、認知症カフェ心愛が5周年を迎えました。これもひとえに利用して下さる皆様、地域包括支援センターや社協、民生委員の皆様。そして何より、ボランティアの皆様のお蔭と言葉では言い表せないくらい感謝しております。

認知症に不安のある方も、軽度の認知症の方も心愛に来ていただいてスタッフと楽しく談笑する中で自然と笑みがこぼれます。気を張らなくてもいいんです。同じ話をしてもいいんです。忘れてもいいんです。今、その時が楽しければ。ご家族の方も、心愛を利用されている方やスタッフと会話することで楽しく過ごしていただきたいと思っています。そして、一人で悩んでいることを同じ境遇の家族に聞いてもらったり、スタッフに相談することで、ちょっと肩の荷を下ろしてもらえたらいいな。と、と思っています。認知症の方も家族の方も、家に籠らないで交流の場であるカフェへ来ていただきたいと思っています。そして、楽しい時間を過ごしましょう。

認知症カフェ 心愛 毎週土曜日10:00～15:00
福井市洲3丁目1010 ループやしるビル1F TEL(0776)98-2700



平成30年度[11月～]

福井県立すこやかシルバー病院研修案内

参加費
無料

一般の方を対象にした研修

研修場所／福井県立すこやかシルバー病院 2階会議室

研修名	開催日	研修時間	主な研修内容	講師	定員
認知症の基礎知識	11月6日(火)	13時30分～15時	● 認知症の原因となる病気と症状 ● 認知症の治療	村田憲治診療部長(医師)	50名
認知症の方の食事援助、口腔ケア	11月9日(金)	13時30分～15時	● 食事摂取困難な状況について ● 口腔ケアの重要性	伊藤有香介護福祉士 大味裕史介護福祉士	50名
高齢者の排泄援助	12月4日(火)	13時30分～15時	● 高齢者の排泄の特徴 ● 排泄援助の注意点 ● おむつの種類と特徴	公立丹南病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 山崎彰子氏	50名
心も体も元気に健康に ～認知症の理解、予防、支援～	平成31年 2月22日(金)	13時30分～15時	● 認知症の危険因子 ● 脳を鍛える対策 ● 心と体を元気にする活動、実演	松岡香織作業療法士	50名
認知症の基礎知識と対応	平成31年 3月8日(金)	13時30分～15時	● 認知症の症状 ● 認知症高齢者の介護のポイント	清水宏隆看護師	50名
認知症に関する制度と相談窓口	平成31年 3月15日(金)	13時30分～15時	● 介護保険制度について ● 困った時の相談窓口	山下寛子精神保健福祉士	50名
認知症の方の 症状悪化の原因を考える	平成31年 3月22日(金)	13時30分～15時	● 認知症の症状悪化の原因として 考えられるポイント	輝山知子看護師長	50名
認知症の方の食事援助	平成31年 3月29日(金)	13時30分～15時	● 食事摂取困難な状況と介護 ● 食事環境の調整	辻真彰副看護師長	50名

ケア専門職の方を対象にした研修

研修場所／福井県立すこやかシルバー病院 2階会議室

研修名	開催日	研修時間	主な研修内容	講師	定員
認知症高齢者ケア(アセスメント)	11月2日(金)	14時～16時30分	● BPSDの原因を捉えるため、身体的要因、 社会心理的要因、中核症状の状況、 周囲の環境等、アセスメントの視点に ついて知る	荒井枝枝 認知症看護認定看護師	70名
認知症をもつ方を支える作業療法	11月16日(金)	13時30分～15時	● 認知症高齢者の作業療法の実践方法、 注意点	下口さゆり作業療法士	70名
高齢の統合失調症の方、 せん妄の方のケア	11月20日(火)	14時～17時	● 高齢者の統合失調症(妄想性障害を含む) の症状とケア、アルツハイマー型認知症 やレビー小体型認知症との相違点 ● せん妄の症状、要因、ケア	福井県立病院 精神看護専門看護師 山口達也氏	70名
認知症の方との コミュニケーション	11月26日(月)	14時～16時30分	● 認知症の方の特徴、心理状態 ● 認知症の方とのコミュニケーションの ポイント	東北福祉大学総合福祉学部 准教授 吉川悠貴氏	50名
認知症の方との コミュニケーション	11月27日(火)	13時～15時30分	● 認知症の方の特徴、心理状態 ● 認知症の方とのコミュニケーションの ポイント	東北福祉大学総合福祉学部 准教授 吉川悠貴氏	50名
認知症高齢者の転倒予防	11月28日(水)	13時30分～16時30分	● 認知症の症状と転倒、認知症高齢者の 転倒の特徴、転倒予防について	高崎健康福祉大学 看護実践開発センター専任教員 梅原 里実氏	70名
認知症高齢者の終末期ケア	11月30日(金)	13時30分～16時30分	● 人工的な水分・栄養補給の考え方、 本人・家族の意思決定について ● 認知症の方が、その人らしく生きる ための希望、意思の尊重 ● 認知症高齢者の身体や心の苦痛に 対するケアのあり方	畿央大学健康科学部 看護医療学科教授 山崎尚美氏	70名
認知症高齢者の せん妄に対するケア	平成31年 2月26日(火)	14時～16時30分	● せん妄の発症因子について ● せん妄予防のためのケアについて ● せん妄発症時のケア、安全、安楽な環境 調整について	河合明泰 認知症看護認定看護師	70名
認知症の方の暴言・暴力、 介護拒否への対応	平成31年 2月28日(木)	14時30分～17時30分	● BPSD(行動・心理症状)の理解 ● BPSD(行動・心理症状)の原因と理由の観察 ● 暴言、暴力、介護拒否に対するケア	NPO法人認知症ケア研究所 統括管理者 高橋克佳氏	70名
認知症の方との コミュニケーション	平成31年 3月1日(金)	9時30分～12時30分	● 認知症の方の特徴、心理状態 ● 認知症の方とのコミュニケーションの ポイント	NPO法人認知症ケア研究所 統括管理者 高橋克佳氏	70名
高齢者に起こりやすい 認知症に類似する病態	平成31年 3月5日(火)	14時～15時30分	● うつ状態、せん妄、てんかん、妄想性障 害の症状、治療	村田憲治診療部長(医師)	70名
認知症の症状を 評価するための心理検査	平成31年 3月12日(火)	14時～16時30分	● 改訂長谷川式簡易知能評価スケール、 MMSE、ADAS、WMS-R、リバーミード 行動記憶検査の検査内容、判定法	平木聡深臨床心理士	70名
高齢のうつ病の方、 眠れない方のケア	平成31年 3月27日(火)	14時～17時	● 高齢者のうつ病の症状とケア、 アパシーとの相違点 ● 睡眠障害の種類、睡眠のメカニズム、 眠れない方へのケア	福井県立病院 精神看護専門看護師 山口達也氏	70名

お問合せ／福井県立すこやかシルバー病院 介護教育部 TEL (0776) 98-2700